

ごあいさつ



経営管理委員会会長
大島 信之



代表理事理事長
材木 洋幸

当会は、昭和23年の設立以来、佐賀県内のJAと一体となり、農業専門金融機関として農業の発展と農家経済の向上を図るとともに、地域金融機関として地域社会・地域経済の繁栄に貢献すべく歩んでまいりました。これもひとえに皆さまのご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

また、本年も当会の業務内容や活動状況などについて、皆さまにご紹介するため「ディスクロージャー誌」を作成し、お手元にお届けすることにいたしました。この冊子により、皆さまの当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、今日の事業を取り巻く環境について、農業面においては、国際情勢の変化に伴う生産資材価格の高止まりと適正な価格形成の必要性を背景に「食料・農業・農村基本法」が改正され、食料安全保障への期待も含め、より一層、JAグループに対する農業所得増大・農業生産拡大に向けた取り組み支援と、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合としての役割発揮が強く求められております。

金融面においては、日銀によるマイナス金利政策の解除により、金利のある世界が期待される一方、先行き不透明な市場動向の継続が見込まれるため、事業環境の変化に対して柔軟な対応が必要となるほか、利用者目線に立った金融サービスの普及やマネロン対策の拡充も含め、地域金融機関としての役割と機能発揮が強く求められております。

このような情勢の中、当会では不断の取り組みとしてJA自己改革を実践し、農業とくらしを支え地域に選ばれ続けるJAバンク佐賀の実現を基本目標に掲げた「JAバンク佐賀中期戦略」の達成に向けた事業を展開するとともに、「持続可能なJA経営基盤の確立に向けた事業変革支援」、「長期安定的な収益還元に向けた収益基盤の強化」を基本方針に掲げた「第14次中期経営計画（令和4年度～令和6年度）」の最終年度として、将来にわたる安定的な事業基盤の確立に向け、役職員一丸となって取り組み続けることとしております。

今後も当会は、永年にわたって培った地域の皆さまとの信頼関係を基盤に、JAの総合力を発揮しながら、農業メインバンクとして、また、地域のメインバンクとして役割を果たすとともに、引き続き信頼される金融機関であり続けるため、利用者保護態勢等の拡充に努めるとともに、法令等を遵守するなど、コンプライアンス態勢の拡充等に取り組んでまいります。

皆さまのご理解となお一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月

経営管理委員会会長 **大島 信之**
代表理事理事長 **材木 洋幸**